

## 第36回マルちゃん杯東北少年柔道大会実施要項

- 目的** 柔道の試合を通して心身の鍛錬及びその技能を磨き、将来を担う東北地区の少年相互の親睦を図り、明るく、そしてたくましい少年の健全育成を目的にする。
- 主催** 東北柔道連盟 東洋水産株式会社
- 主管** 秋田県柔道連盟
- 後援** (公財)全日本柔道連盟, 秋田県, 秋田県教育委員会, 秋田市, 秋田市教育委員会 (公財)秋田県スポーツ協会, (一財)秋田市スポーツ協会, 秋田県スポーツ少年団 秋田魁新報社, ABS秋田放送, AKT秋田テレビ, AAB秋田朝日放送, FM秋田 (株)ユナイテッドホールディングス((株)伊徳、(株)タカヤナギ)
- 日時** 令和5年5月20日(土) 【柔道教室】
- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 役員開場(1階)        | 7:00～       |
| 会場準備            | 7:30～12:00  |
| 選手・監督・コーチ入場(2階) | 12:00～      |
| 観戦者入場(2階)       | 13:00～      |
| 柔道教室            | 14:00～16:00 |
- 令和5年5月21日(日) 【大会】
- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 役員開場(1階)        | 7:00～  |
| 選手・監督・コーチ入場(2階) | 7:10～  |
| 観戦者入場(2階)       | 7:50～  |
| 監督・審判会議         | 7:50～  |
| 開会式             | 8:20～  |
| 試合開始            | 8:45～  |
| 中学生女子 試合終了      |        |
| 小学生 試合終了        |        |
| 小学生・中学生女子 毎 表彰  | 試合終了後～ |
| 中学生男子団体試合終了     | 16:30頃 |
| 中学生男子表彰・閉会式     | 試合終了後～ |
- 会場** 秋田県立武道館 大道場  
〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄2-2 TEL018-862-6651
- 参加資格**
- (1) 対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中に在籍している者であって、全日本柔道連盟に登録(団体登録)をしている「学校」、「道場」、「クラブ」、「スポーツ少年団」単位とする。(未登録チームは出場できないので、登録をしていないチームは速やかにWEBで団体登録を行うこと。)
  - (2) 選手は、出場するチームを通して、全日本柔道連盟登録(競技者登録)をしていること。なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
  - (3) 監督は、全日本柔道連盟登録(指導者登録C指導員以上)をしていること。また、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」(別紙1参照)に従って行動すること。複数のチームの監督を兼任することはできない。  
また、マルちゃん杯全日本少年柔道大会へ東北代表として出場するチームの監督は、全柔連指導者登録資格B指導員以上を取得した者とする。
  - (4) 選手本人の出場意志を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。
  - (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
  - (6) 選手の氏名、学校名、身長、体重等のプログラム掲載、及び大会結果、写真等の新聞・雑誌への掲載等の取り扱いについて、参加申込用紙の提出により、承諾したものとす。ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出るこ  
し

- 審判規定**
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2020～2022)及び国内における「少年大会特別規定」による。
  - (2) 試合時間は、各部ともに2分とする。但し、小学生の部における決勝戦、及び中学生(男子・女子)の部における準々決勝以上は3分とする。
  - (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
- 試合方法**
- (1) 試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
  - (2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
    - ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
    - ② ①で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
    - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
    - ④ ③で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
  - (3) 代表戦においては、通常の2または3分間の試合を行い、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する(GSは行わない)。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。
  - (4) 選手のオーダーは、負傷・事故防止のため体重の重い選手から順に大将から配列するものとする。なお、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。
- 表彰**
- (1) 上位4チームまでの入賞チームを、秋田県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状(第3位まで)及び賞品を授与する。
  - (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド ワダ杯を授与する。
  - (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部5名(中学生女子の部は3名)に優秀選手賞を授与する。
  - (4) 入賞チームの中から敢闘選手を選考し、小学生の部、中学生の部(女子の部無し)各部1名ずつ神永昭夫杯、1名に天野芳太郎杯を授与する。
  - (5) 令和5年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会開催日及び出場チーム数
    - ① 令和5年9月17日(日)東京武道館で開催。
    - ② 小学生の部上位4チーム。
    - ③ 中学生男子の部上位6チーム。≪5位決定戦を行い2チームを決定する≫
    - ④ 中学生女子の部上位2チーム。
 なお、全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。
  - (6) 出場者全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。
- 申込方法**
- (1) 申込期限 令和5年 4月21日(金) 必着 ※期間厳守のこと  
上記期限までに申請書(別紙)により郵送すること。
  - (2) 申込先  
秋田県柔道連盟  
〒010-0974 秋田県秋田市八橋運動公園1-5秋田県スポーツ科学センター内  
TEL018-874-9790 FAX018-874-9793 E-mail info@akita-judo-federation.com
- 選手変更**
- (1) 申込期限後の選手変更は認めない。
  - (2) オーダー変更は大会当日に選手変更届で申し込むこと。
  - (3) 選手の体重の増減によるオーダー変更がある場合は届け出ること。
  - (4) 申込期限後または、大会中に選手を変更する場合は、補欠より補充し、改めて体重の重い順に大将から配列すること。
  - (5) 大会中の負傷等によって変更した選手は、以後の試合に出場できない。
- 組み合わせ** 令和5年4月27日(木)に大会事務局において行う。 ※2案 4月26日(水)
- 参加費** 無料

## その他 (1) ゼッケンについて

柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は出場できない

図1 ゼッケンの縫付方

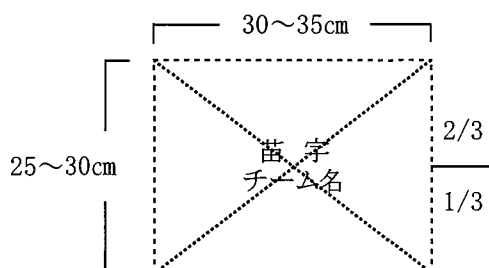
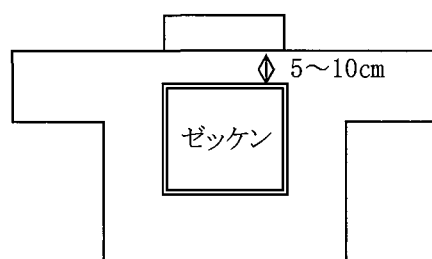


図2 ゼッケンの縫付位置



- ① 布地は白色の晒太綾、サイズは概ね横30～35cm・縦25～30cmとする。
  - ② 後ろ襟から5～10cm下部に点線部分を縫い付ける(対角線も縫い付けること)。
  - ③ 上2/3に苗字、下1/3にチーム名をゴシック体または明朝体(楷書)で記載し、男子は黒文字、女子は赤文字とする。
  - ④ チーム内に同じ苗字(姓)の選手がいる場合は、名前の1字を記載する。
- (2) 脳しんとうについて
- ① 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大予防について
- ① 別紙「新型コロナウイルス感染拡大予防のためお願い」を確認して、大会運営に協力すること。
  - ② 登録選手以外の武道館への入館を認めない。最大数(小・中男:7人、中女:4人)
  - ③ 1チームに登録選手人数分の観戦者の入館を認める。最大数(中男・小:7人、中女:4人)
  - ④ 選手、監督、大会役員、観戦者は、1週間前(5月14日)から当日までの健康観察報告書を提出すること。健康観察報告書は、柔道教室、大会の両日提出。柔道教室後に返却するので大会当日もう一度提出する。体調不良の症状がある場合は、入館できない。
  - ⑤ 小学生、中学生女子、中学生男子を同時に行い、敗退したチームから随時、武道館から退館する。なお、入賞チームは各試合終了後に表彰を行う。中学生男子は閉会式と一緒に表彰を行う。
  - ⑥ 何らかの不正が発覚した場合は、大会運営を止めて当該チームの選手・観戦者全員の退館を検討する。

## 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。提出された個人情報については、上記目的以外に使用することはありません。参加申込用紙の提出により、上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

秋田県柔道連盟

〒010-0974 秋田県秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内

TEL 018-874-9790 FAX 018-874-9793 E-mail info@akita-judo-federation.com